

農業委員会の委員(令和8年2月20日～3月2日受付分)

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
井邊 宜之	男	70	農業	S53.4～R7.12 R4.4～	紀陽銀行にて相続事務担当 井辺地区自治会長	水稻	86	非該当	家業である農業は、代々、米を中心に営んできた。私は昨年までは、銀行に勤めながら兼業にて約50年間作り続けてきた。今年から勤めを辞め、本格的な農業経営に取り組む予定。高齢化による農地の耕作放棄地増加、またその相続による宅地化による緑地、農地の減少を見るにつけ、農業委員の職責を続けて、新しい担い手を掘り起こしていきたいと心から思い、応募いたしました。
曾根光彦	男	78	農業	H22.4～ H26.4～ H31.4～ R2.4～ H26.7～	農業近代化推進委員 南地区 JAわかやま岡崎地区協力委員長 農業共済組合岡崎地区 岡崎地区連合自治会長 農業委員会委員	水稻	30	該当	平成26年7月から約12年間農業委員として、地域での活動を行っておりますが、近年全国的な傾向として高齢化が進み、担い手不足等問題になっている中、耕作放棄地も見受けられるようになり、今後も、地区推進委員と共に放棄地をなくす取り組みを行っていきたい。同時に新規就農者の掘り起こしに力を入れ、農地の確保に努めていききたい。また、農地違反転用防止のため、日頃のパトロール強化を進めていききたい。今回も農業問題解決のため少しでもお役にたてればと思い、農業委員に応募いたしました。

農業委員会の委員(令和8年2月20日～3月2日受付分)

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
山本茂樹	男	74	農業	H5.10～H21.4 H10.12～R7.12 H14.4～ H17.8～H29.3 H17.7～ H26.7～H29.7 H29.7～	わかやま農業協同組合総代 安原地区民生委員・児童委員協議会会長 わかやま農業協同組合協力委員 安原地区 安原地区農業近代化推進委員 農業委員会委員 農業委員会 農政問題調査研究小委員会委員長 農業委員会副会長	水稲 その他	33	該当	家業の農業を継いでから52年、近年は稲作を中心にブルーベリーやオリーブを栽培していますが、特にオリーブを経営としての研究に取り組んでいます。平成17年から農業近代化推進委員及び農業委員となり、21年間職責を続けてきました。近年、地域の農業者の高齢化や後継者不足による遊休農地の増加に懸念しています。これまでの経験を活かし、農地の最適利用や新規就農者の支援を通じて遊休農地の解消、地域計画の推進、しいては和歌山市の持続可能な農業の未来を築く一助となりたいと思い、引き続き農業委員に応募しました。
井口 健	男	78	農業	H20.3～ H25.4～ H29.9～R5.7 R5.7～	地方公務員定年退職 わかやま農業協同組合組合員 加入 和歌山市農地利用最適化推進委員 和歌山市農業委員会委員	露地野菜	1	非該当	現在の農地所有者は80歳前後と高齢化しており、後継者がいても農業離れの傾向にあり、慢性的に後継者不足となっています。また、農地の有効活用には農地所有者に対する活用可能な制度の情報発信などが大切と考えます。そのためには、6年間の推進委員、3年間の農業委員の経験を生かし、農業者の意向を早期に把握し、耕作放棄地の防止、解消を図りながら、継続的に戸別訪問を実施して、「使える状態で、使える人に農地を引き継ぎたい」との思いから応募しました。

農業委員会の委員(令和8年2月20日～3月2日受付分)

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
鳥崎 寛司	男	46	土地家屋 調査士	H23.1.11～ R7.4.1～	土地家屋調査士、事務所所長 和歌山商工会議所青年部 会長	—	—	非該当	私は土地家屋調査士として、日々土地の境界確定や登記業務に携わり、農地の権利関係や活用の現状を実務面から注視してまいりました。近年課題となっている所有者不明農地の解消や遊休農地の発生防止において、測量や不動産表示の専門知識は不可欠であると考えております。専門家としての知見を活かし、農地の最適化推進や適正な権利移動の審査に公正な立場から寄与し、地域農業の基盤整備に貢献したく応募いたしました。